

会 議 録

会議名	平成 28 年度第 2 回八王子市博物館協議会
開催日時	平成 28 年 9 月 13 日(火)午後 6 時 30 分～8 時 30 分
開催場所	コニカミノルタサイエンスドーム 会議室
出席者	委員 磯部剛久、小此木正貴、柿崎博孝、数馬広二、鎌倉佐保、 國方則和、黒澤美代子、佐々木幹夫、佐藤栄子（50 音順）
	事務局 叶清こども科学館長、中正由紀郷土資料館長（文化財課長）、森融こども 科学館専門幹兼主査、小山豊こども科学館担当主査、尾崎光二郷土資料 館担当主査、中村善行郷土資料館担当主査、河津美穂子郷土資料館担当 主任、佐藤友紀郷土資料館担当主事
欠席者	小野一之委員
議 題	協議事項 1. 会長、副会長の選任及び、会議録署名者の選定について 2. 八王子市博物館協議会の概要及び、その目的について 3. 各館の概要について 4. 平成 28 年度八王子市こども科学館及び、郷土資料館事業(4～7 月期) 実施状況について
公開・非公開の 別	公開
傍聴人の数	0 名
配付資料名	会議次第 平成 28 年度八王子市博物館協議会委員名簿 八王子市博物館協議会の概要 八王子市博物館協議会条例 八王子市博物館協議会条例施行規則 八王子市博物館協議会運営要綱 八王子市こども科学館の概要 八王子市こども科学館条例 八王子市こども科学館条例施行規則 八王子市郷土資料館の概要 八王子市郷土資料館条例 八王子市郷土資料館条例施行規則 平成 28 年度こども科学館事業(4～7 月期) 実施状況 平成 28 年度八王子市郷土資料館事業(4～7 月期) 実施状況 八王子市博物館協議会平成 28～31 年任期スケジュール

	<p>1. 会長に柿崎博孝委員、副会長に鎌倉佐保委員を互選。署名委員の順番を決定。</p> <p>2. 八王子市博物館協議会の概要について佐藤郷土資料館主事より説明。</p> <p>3. こども科学館の概要について森こども科学館専門幹兼主査より説明、続いて郷土資料館の概要について佐藤郷土資料館担当主事より説明。説明後、叶こども科学館館長より補足説明。続いて尾崎郷土資料館担当主査より補足説明。</p> <p>—質疑応答—</p> <p>佐藤委員 両館とも公共施設ということで入館者数、いわゆる費用対効果を重視しているのは良い事と思いますが、こども科学館の設置条例に次代を担う子供たち創造性の育成に寄与することが掲げられているので、費用対効果に加えて教育的効果も併せて考えることも重要だと思います。両館とも展示のみではなく、来館した子どもへどのように問いかけていくのか、教育に向けたシステム化作りのため学識経験者を筆頭に、我々も協力していければと思います。今までは提言するのみでしたが、今後はその提言を活かせるような形の協議会にしていければ良いと思います。</p> <p>柿崎会長 ありがとうございます。佐藤委員のご意見は博物館協議会の役割にも関わってくるものだと思います。今後協議会の中で様々な意見・提言が取り交わされると思います。両館とも反映可能・不可能はあるかと思いますが、反映可能の提言に対しては取り入れ、協議会の場で結果等を報告していただければと思います。</p> <p>佐藤委員 現状では子どもたちが受動的に学ぶような形ですので、子どもが自ら意思を發し、考えるような形にしていくのが望ましいと思います。</p> <p>磯部委員 こども科学館にはボランティアがいますか。</p> <p>叶館長 はい。主に来館者の多い土日を中心にボランティアをお願いしています。</p> <p>磯部委員 先ほどのお話でもあったように、見学に来た子ども達とボランティアと一緒に考えるような解説ができればとても良いと思います。私も美術館でボランティアをしておりますが、やはり子どもたちと一緒に鑑賞するという形をとっております。現状ですと展示をどう使えばいいのかわからない、尋ねる人がいないという状態ですので、ボランティアとうまく</p>
--	--

	<p>連携していければ良いと思います。</p> <p>小此木委員 外部評価制度に関しては実施しておりますか？実施していなければ今後実施の可能性はありますか？</p> <p>叶館長 両館のみの外部評価制度はございませんが、市全体で外部評価制度があり、その中で自己評価という形で実施しています。また教育委員会に関しましても外部評価委員を設けており、前年度の事業に対する評価をいただいています。</p> <p>小此木委員 協議会では我々が内部評価の形で事業を評価するようなことも協議会の役割としてあるのでしょうか？</p> <p>叶館長 はい。そのようにご理解していただければと思います。</p> <p>尾崎主査 年度ごとに施設評価を実施しており、その報告に対し協議会で評価していただくという形をとっております。</p> <p>柿崎会長 時期が来ましたらそのような形で評価をしていくことになるかと思っておりますので、よろしく願いいたします。</p> <p>國方委員 こども科学館の計画策定について2点ほど。1点目は佐藤委員が話しておられましたが、こどもたちの興味関心をひき、それをどう持続させていくかを考えていく必要があります。こども科学館がどうあるべきかについて、こども科学館が単独で考えていくのではなく、学校教育も含めて複合的に考えていくことが重要であると思います。展示に関しても展示をリニューアルして終わりではなく、リピーターが来るたびに違うモチベーションで来館できる展示ということを考えていかなければならないと思います。2点目は館のリニューアルについてです。館のリニューアル後に計画策定とありますが、これは時系列で見ると順序が逆なのではないかと思っております。こちらに関してはリニューアルにあたり、何か方針等の策定を実施したのか教えて下さい。</p> <p>叶館長 1点目につきましては、プラネタリウムや科学館展示を有する教育委員会内の市直営施設というメリットを活かし、年代に応じた内容のプラネタリウム番組の上映等、各小・中学校の先生方と調整しながら、教育委員会との連携を行っています。今後その他の分野でも幅広く連携をしていきたいと思っております。2点目につきましては、館のリニューアルは平成21年度から平成30年度を計画期間とする計画の中で、展示物の刷新は喫緊の課題として認識されています。それを踏まえ、平成26年度に展示物見直しのための基本理念を策定し、宇宙</p>
--	--

教育も含め館のあり方を検討した上でリニューアルを先行させるという形をとりました。そのため時系列上では順序が逆ですが、整合性はとれているとご理解いただきたいと思います。

柿崎会長　その他質問等あるかと思いますが、続いてこども科学館の見学に移りたいと思います。

—森こども科学館専門幹兼主査によるこども科学館の展示等解説。終了後会議室へ戻り、議題（4）平成28年度八王子市こども科学館及び、郷土資料館事業（4～7月期）実施状況についてこども科学館を森こども科学館専門幹兼主査より説明。続いて郷土資料館について佐藤郷土資料館担当主事より説明。説明後、叶こども科学館館長より補足説明。続いて尾崎郷土資料館担当主査より補足説明。—

—質疑応答—

黒澤委員　他の博物館では小学生の授業とタイアップして、縄文・弥生時代の授業の一環として資料館や博物館を見学するようなことを行っているそうですが、郷土資料館ではそのような学校との連携事業はないのでしょうか？

尾崎主査　黒澤委員の質問は当館の課題でもあります。現在八王子市には小・中学校が108校あり、そのうち資料館へ社会科見学で来館するのが40校程度になっております。主に小学校3年生の社会科の昔の暮らしを知るという授業の一環で見学に来ております。また学校向けに土器の貸し出しなども始めましたが、あまり利用がなされていないのが現状です。八王子は縄文の遺跡が数多く存在し、資料は豊富でございますので、これをどう活用していくのが課題となっております。

黒澤委員　社会科見学につきまして、今年はまだ4校のみという事ですがこれから多くなるのでしょうか？

尾崎主査　はい。社会科見学は例年9月と2月に集中しております。これは学校の授業の進捗状況等の要因からこの時期に集中するようです。しかし現在郷土資料館では施設の大きさの関係から、午前午後で各1校ずつしか受付できないのが現状です。利用日が重なってしまった場合、お断りするケースもあります。工夫といたしましては、去年は戦後70年の年でもあったため、1階の常設展示場を使用し、戦争に関する特別展示を

	<p>行いました。また社会科見学等でも活用できるように展示期間を9月末まで設定する等工夫をしております。</p>
小此木委員	<p>今回両館初の試みとして八王子隕石を取り上げましたが、とても良かったと思います。また隕石以外にもコラボレートするような物があると思います。例えば郷土資料館では千人同心の塩野適齋が著した天文学の本について、こども科学館では江戸時代の人々が見た星座について紹介するなど、両館で知恵を出し合いながらやっていければと思います。また質問ですが、資料館の特別展や企画展のテーマ設定はどのようにして決定するのでしょうか。</p>
尾崎主査	<p>特別展につきましては、資料等収集・整理していく中で学芸員の研究がまとまった段階で特別展として実施するに足るものか検討し判断します。ただ前年度の戦後70周年のように節目の年には、資料館の収蔵資料の数等を検討し実施するか否かを検討する場合がありますが、基本的には収集した資料の研究成果を突き合わせてという形になります。</p>
河津主任	<p>戦争の関係も同様ですが、来年の場合は市制100周年の節目の年というように時季のテーマも取り入れつつ、学芸員の研究も併せて設定する形です。</p>
小此木委員	<p>つまり来年は市制100周年ですので100周年に関する特別展を実施するという事ですか。</p>
河津主任	<p>来年は郷土資料館の開館50周年でもありますので、それも併せて市制施行からの100年をたどる展示ができればと考えています。</p>
柿崎会長	<p>ありがとうございました。</p>
磯部委員	<p>入館者数について市外の同等の博物館との比較・検討などの取り組みは実施していますか。</p>
尾崎主査	<p>資料館では三多摩公立博物館協議会の加盟館との入館者数を比較しています。</p>
磯部委員	<p>比較した結果をレポート等でまとめ、何らかの形で報告等を行っていますか。</p>
尾崎主査	<p>現状ではまとめ・報告等は行っておりません。</p>
森主査	<p>こども科学館では以前に多摩六都科学館と比較を行ったことがございます。多摩六都科学館はこども科学館に比べ、展示規模・施設面積が約2倍の施設であり、入館者数も同様に約2倍でした。</p>

	<p>磯部委員 わかりました。ありがとうございます。</p> <p>柿崎会長 他にご意見ある方はいらっしゃいますか。</p> <p>佐々木委員 入館者数につきまして、地域別の分布等の集計は行っていますか。</p> <p>森主査 入館者の地域別集計は行っておりませんが、過去に夏休み中に一部の入館者について市外・市内別の集計をとったことがあります。結果は市内が53パーセント、市外が47パーセントとなり、夏休みに市外からの入館者が多いことがわかりました。</p> <p>國方委員 リピート率という観点も重要だと思います。またコラボレーションも大切ですが、例えば一つの切り口として八王子内部だけではなく東京として見た場合、日本、世界で見た場合という外部からの切り口で八王子の歴史を示していくことも大事だと思います。</p> <p>佐藤委員 アンケートに関しまして、アンケートの項目を単に面白かった、面白くなかった等の択一的な項目ではなく、あなたにとってどこがどう役に立ったかというように問い返す形の項目も重要ですので、アンケートの取り方について、もう少し考える必要があると思います。</p> <p>数馬委員 コラボレーションに関しても、今回見学したこども科学館の展示に関しても良かったと思います。展示に関して特に動きのある展示が良かったです。最近では健康に関する関心が高まっておりますので、それを八王子市や郷土資料とどう関わっていくのかを考えていければと思います。私の大学で開催した理科教室で、体組成計を利用した健康に関する体験教室を実施しましたが、大人と子どもの両方が高い関心をもって参加しておりました。大人と子どもがより近い距離で見ることのできる企画、例えば展示を見に来た大人と一緒に来た子どもに解説できるようなプレートを設置するなどと親の立場からは非常に喜ばれると思います。</p> <p>叶館長 こども科学館では郷土資料館だけでなく市役所の他の所管との連携も探っているところです。去年は近隣の大横保健福祉センターと連携し、保健師を招いて親子を対象にした身体測定会を開催しましたが、終始和気あいあいとした雰囲気で開催してもらえました。これからも歴史や科学にこだわらず、親子の絆を深める場として企画を考えていきたいと思っています。</p>
--	---

ます。

柿崎会長 ありがとうございます。他には何かございますか。

鎌倉副会長 どの博物館も入館者数が減少しており、それを増やすことに工夫を凝らしているところだと思います。両館とも様々な企画で入館者数を増やす努力をされており、今後とも期待しております。良い企画をすると市外からも人が集まってくると思います。今は SNS も発達しておりますので、来館者がさまざまな情報発信をしていただく事により、市外からの来館者も期待できると思います。

柿崎会長 まだまだご意見等あると思いますが、時間の都合上ここまでといたします。委員の皆様にはお時間のある時に両館の展示や様子をご覧になったりするもの良いかと思います。それでは次回の開催予定につきまして事務局よりお願いします。

—中村郷土資料館担当主査より、次回の開催予定日等を報告—

柿崎会長 ありがとうございました。それでは平成 28 年度第 2 回八王子市博物館協議会を閉会させていただきます。ありがとうございました。